

# KEEITAN 教員ファイル



子ども学科  
木村 拓磨先生

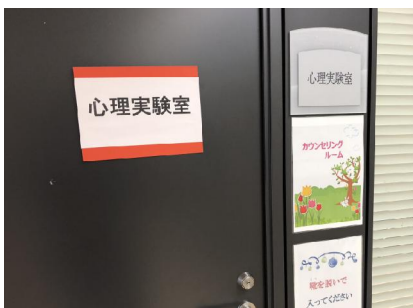
名古屋経営短期大学の先生を紹介する「KEEITAN 教員ファイル」。今回は子ども学科の木村 拓磨先生を紹介します。

～木村 拓磨先生の紹介～

関西学院大学大学院博士課程前期課程文学研究科心理学専攻 修了。心療内科、精神科での心理職、文部科学省委託事業学び直しプログラムコーディネーター（三重中京短期大学部）、児童福祉施設心理職員などを経て現職。

Q 何を専門に教えていますか。

A 私は「応用行動分析学」をベースに研究しています。応用行動分析学とは人の気持ちや行動の原因を、周囲の環境との関係のなかで考えるもので、これをベースに障害児保育や児童虐待について教えています。障害児保育や児童虐待は密接な関係があり、このような背景を持った「



気になる子」と言われる園児が保育の現場にいます。その為、学内のみならず、地域の児童福祉施設などでも現場の方たちに向けた講演会なども行っています。

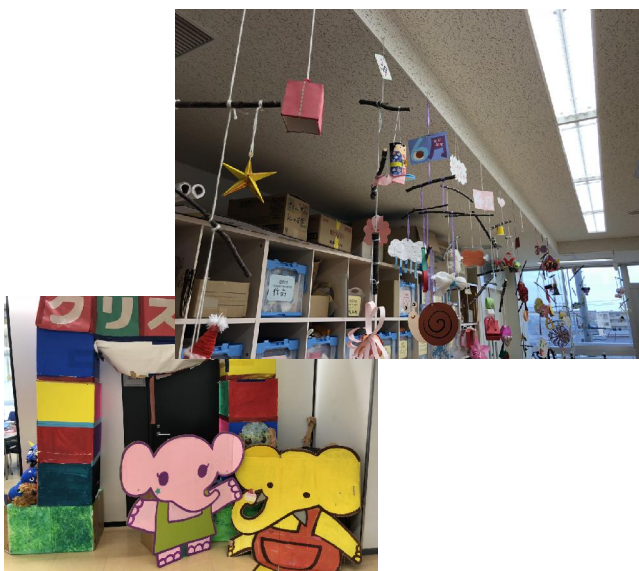
Q 授業で大切にしていることはありますか。

A 学生が3年後実際に保育や教育の現場で活躍することになりますが、その際に「現場で使える知識」を身につけられるようになっています。学生の間はいろいろと学ぶことができる期間ですから。



Q 学生にどんな学生生活をおくってほしいですか。

A 保育や教育の現場など学校の外に出て、色々なことに接してほしいと思います。保育や教育の現場に出たままではなかなか教えてもらう立場にはなれません。教わることができる立場のうち、現場では何が必要となるのかを理解し、学んでいくと良いと思います。



私はコレを学んでいます!!

子ども学科 松本 あすかさん

愛知・さつき調理 福祉学院出身



小さいころから保育の道に進むのが夢でした。今は授業に実習に学ぶことの毎日ですが、「やさしい先生」を目指して頑張っています。